

Sustainable Report No.135

増える発達障害と 就労までの道のり

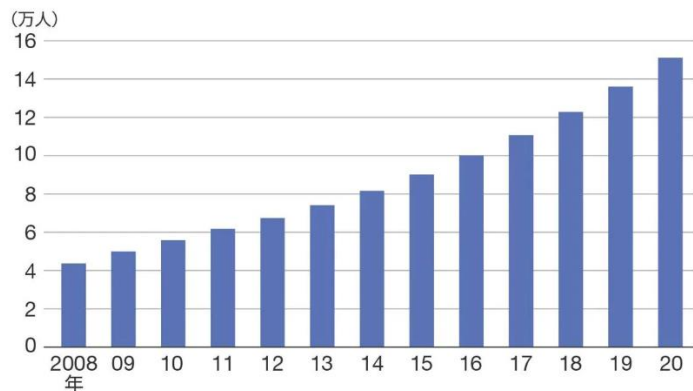


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

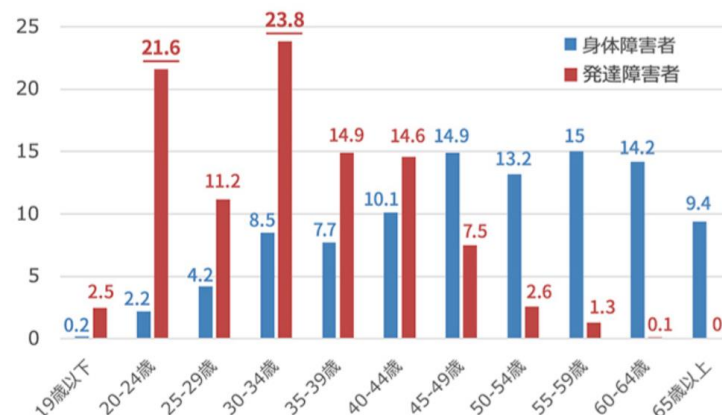
- 2019年、**発達障害（自閉症スペクトラム障害含む）の児童は7万人**を超え、これは2006年の7千人あまりから10倍増となる。
- 2002年、文部科学省は通常学級に在籍する**特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する実態調査**を実施。2005年に早期発見と支援を促す「発達障害者支援法」が施行。
- 障害者雇用促進法によって、**民間企業の障害者雇用率は段階的に引き上げ**られ、令和5年2.3%、令和6年2.5%、令和8年2.7%と定められる。

■ 自閉症・情緒障害で特別支援学級に入る児童数



出典：東洋経済オンライン

■ 障害者の雇用 年齢階級別 (%)



出典：文部科学省の調査をもとにチャレンジ・ラボ作成

▶ NEXT : 寄り添った学びの提供を目指す支援活動

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 2005年に仙台で創業した株式会社LITALICOは、就労移行支援事業を展開し、**障害のない社会づくり**をビジョンに掲げている。
- **教師向けICTサービス「LITALICO教育ソフト」**を開発し、特別支援教育に関する動画や教材の提供、支援計画の作成をサポートし、**教育委員会や学校と連携協定**を広げている。
- 就労まで見据えたサービスとして展開が期待される。

■ (根拠データ名称)

LITALICO 教育ソフト



出典：株式会社LITALICO ([プレスルーム](#)／[サービス公式サイト](#))

▶NEXT：認知・理解を深めてスペシャリストを育てる

■ 弊害の原因／理想／企業施策

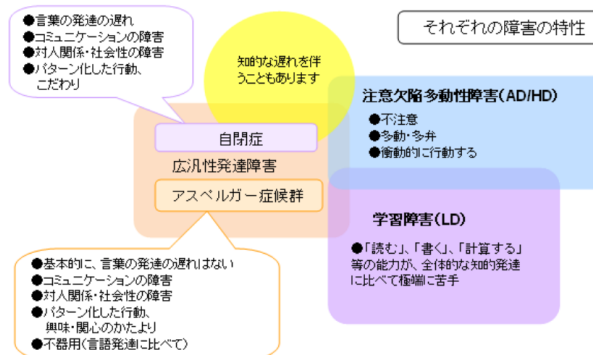
- 採用時に適性を判断する必要があるが、学校は変わっても**企業は認知や理解に改善の余地がある**のではない。
- 企業も障害者雇用に理解を深めることが理想である。特に発達障害は、**個人の特性に配慮して職場環境を整える**ことで、勤怠が安定しやすいと言われている。
- 症状によって得手不得手があるので、特化した分野への能力を活かして**スペシャリストを育てる**ことができる。企業は、当人に合った業務内容や環境の整備として、**人員の割振りの改善**が求められる。

■ 発達障害のある方が特性を活かしやすい業務の一例

- 興味ある分野の知識が豊富⇒専門知識を活かせる
IT部門：システム開発、プログラミング業務など
スペシャリスト：翻訳、法務など
- いつも通りの秩序を重んじる⇒ルーチンワークに地道に取り組める
軽作業系：倉庫での仕分け、設備点検など
- 常識にとらわれず発想が自由⇒独特な発想・感性を活かせる
デザイン部門：WEBデザイン、DTPデザイン業務など
- 細かいことによく気づく⇒正確性・緻密性を活かせる
ミドル・フロント部門：データ入力、スキャニング、ファイリングなど

出典：株式会社LITALICO

■ 様々な発達障害のタイプ



出典：厚生労働省

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 東洋経済オンライン 「学校で「発達障害」の子どもが急増する本当の理由」, 2022年4月1日 (<https://toyokeizai.net/articles/-/577701?page=3>)
- 厚生労働省, 「平成30年度障害者雇用実態調査の結果を公表します」, 令和元年6月25日 (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_05390.html)
- チャレンジラボ (運営: パーソルホールディングス株式会社), 「発達障害者の雇用まとめ ~特性、定着率、雇用状況、採用・安定就労のポイント~」, 2023年12月28日参照 (<https://persol-diverse.co.jp/lab/fundamental/work/work003/>)
- 株式会社LITALICO, 「LITALICO教育ソフト」公式サイト, 2023年12月28日参照 (<https://s-edu-soft.litalico.jp/>)
- 厚生労働省, 政策レポート「発達障害の理解のために」, 2023年12月28日参照 (<https://www.mhlw.go.jp/seisaku/17.html>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。